

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-518028 (P2005-518028A)

【公表日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2005-023

【出願番号】特願 2003-568579 (P2003-568579)

【国際特許分類】

G 0 6 F 11/34 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 11/36 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 11/34 S

G 0 6 F 17/30 1 4 0

G 0 6 F 9/06 6 2 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 つまたは複数のベンチマーク定義を含む電子データ構造であって、
前記電子データ構造は、S G M L ベースの言語によって読出し可能なフォーマットを有するファイルである、
ことを特徴とする電子データ構造。

【請求項 2】

前記ファイルは X M L ファイルである、請求項 1 記載の電子データ構造。

【請求項 3】

前記ファイルは H T M L ファイルである、請求項 1 または 2 記載の電子データ構造。

【請求項 4】

前記ファイルはさらにベンチマークデータを含む、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項または複数項記載の電子データ構造。

【請求項 5】

コンピュータシステム内で実行される 1 つまたは複数のプロセスによって、請求項 1 から 4 までのいずれかに記載の電子データ構造を処理する方法であって、

前記 1 つまたは複数の電子データ構造内に含まれている 1 つまたは複数のベンチマーク定義またはベンチマークデータを、ビジネスプロセスをサポートするためのデータ構造またはソフトウェア内に組込むことを含む、
ことを特徴とする電子データ構造を処理する方法。

【請求項 6】

前記ベンチマーク定義の組込みを自動的に行い、

1 つまたは複数の前記電子データ構造を読出すステップと、

1 つまたは複数の前記電子データ構造内のベンチマーク定義に対する 1 つまたは複数のキーワードを認識するステップと、

1 つまたは複数の当該キーワードによって識別された情報をデータベース構造内に書き

込むステップと、を含む、請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

前記ベンチマークデータの組込みを自動的に行い、

1 つまたは複数の前記電子データ構造を讀出すステップと、

1 つまたは複数の前記電子データ構造内のベンチマークデータに対する 1 つまたは複数のキーワードを認識するステップと、

1 つまたは複数の当該キーワードによって識別された情報をデータベース構造内に書き込むステップと、を含む、請求項 5 または 6 記載の方法。

【請求項 8】

キーワードによって識別された前記情報と、前記情報が書き込まれているデータベース構造を相互にアルゴリズムによって割り当てる、請求項 6 または 7 記載の方法。

【請求項 9】

前記アルゴリズムは 1 つまたは複数のテーブルまたは、1 つまたは複数の規則を含む、請求項 8 記載の方法。

【請求項 10】

1 つまたは複数の前記規則は 1 つまたは複数のテーブルに含まれている、請求項 9 記載の方法。

【請求項 11】

前記データベース構造は事前に定められる、請求項 7 から 10 までのいずれか 1 項または複数項に記載の方法。

【請求項 12】

前記電子データ構造内に含まれているベンチマーク定義を、ビジネスプロセスをサポートするためのソフトウェア内に含まれている相当するベンチマーク定義に、テーブルを用いてマッピングし、

当該テーブル内では、前記電子データ構造内のベンチマーク定義の第 1 の ID が、ビジネスプロセスをサポートするためのソフトウェア内のベンチマーク定義の第 2 の ID に割り当てられている、請求項 5 から 11 までのいずれか 1 項または複数項に記載の方法。

【請求項 13】

ビジネスプロセスをサポートするためのソフトウェア、殊に企業資源計画ソフトウェアでの使用に対する、請求項 5 から 12 までのいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 14】

コンピュータシステム内で実行される 1 つまたは複数のプロセスを用いて、請求項 1 から 4 までのいずれかに記載の電子データ構造を処理するコンピュータシステムであって、

・プログラム命令を有するメモリと、

・データを入力するための入力手段と、

・データを記憶するための記憶手段と、

・前記プログラム命令に応答するプロセッサを有しており、

当該プログラム命令は、1 つまたは複数の前記電子データ構造内に含まれている 1 つまたは複数のベンチマーク定義またはベンチマークデータを、ビジネスプロセスをサポートするためのデータ構造またはソフトウェア内に組込むためのものである、ことを特徴とする、コンピュータシステム。

【請求項 15】

前記ベンチマーク定義の組込みが自動的に行われ、

1 つまたは複数の前記電子データ構造を讀出すステップと、

1 つまたは複数の前記電子データ構造内のベンチマーク定義に対する 1 つまたは複数のキーワードを認識するステップと、

1 つまたは複数の当該キーワードによって識別された情報をデータベース構造内に書き込むステップと、を含む、請求項 14 記載のコンピュータシステム。

【請求項 16】

前記ベンチマークデータの組込みが自動的に行われ、

1 つまたは複数の前記電子データ構造を讀出すステップと、

1 つまたは複数の前記電子データ構造内のベンチマークデータに対する 1 つまたは複数のキーワードを認識するステップと、

1 つまたは複数の当該キーワードによって識別された情報をデータベース構造内に書き込むステップと、請求項 1 4 または 1 5 記載のコンピュータシステム。

【請求項 1 7】

キーワードによって識別された前記情報と、前記情報が書き込まれているデータベース構造が相互にアルゴリズムによって割り当てられている、請求項 1 4 から 1 6 まで記載のコンピュータシステム。

【請求項 1 8】

前記アルゴリズムは 1 つまたは複数のテーブルまたは、1 つまたは複数の規則を含む、請求項 1 7 記載のコンピュータシステム。

【請求項 1 9】

1 つまたは複数の前記規則は 1 つまたは複数のテーブルに含まれている、請求項 1 8 記載のコンピュータシステム。

【請求項 2 0】

前記データベース構造は事前に定められる、請求項 1 6 から 1 9 までのいずれか 1 項または複数項に記載のコンピュータシステム。

【請求項 2 1】

前記電子データ構造内に含まれているベンチマーク定義を、ビジネスプロセスをサポートするためのソフトウェア内に含まれている相当するベンチマーク定義に、テーブルを用いてマッピングし、

当該テーブル内では、前記電子データ構造内のベンチマーク定義の第 1 の ID が、ビジネスプロセスをサポートするためのソフトウェア内のベンチマーク定義の第 2 の ID に割り当てられている、請求項 1 4 から 2 0 までのいずれか 1 項または複数項に記載のコンピュータシステム。

【請求項 2 2】

ビジネスプロセスをサポートするためのソフトウェア、殊に企業資源計画ソフトウェアでの使用に対する、請求項 1 4 から 2 1 までのいずれか 1 項記載のコンピュータシステム。

【請求項 2 3】

コンピュータシステム内で実行される 1 つまたは複数のプロセスを用いて、請求項 1 から 4 までのいずれかに記載の電子データ構造を処理するための命令を含む、コンピュータ読出し可能な媒体であって、

1 つまたは複数の前記電子データ構造内に含まれている 1 つまたは複数のベンチマーク定義またはベンチマークデータを、ビジネスプロセスをサポートするためのデータ構造またはソフトウェア内に組込むための命令を含む、ことを特徴とする、コンピュータ読出し可能な媒体。

【請求項 2 4】

前記ベンチマーク定義の組込みが自動的に行われ、

1 つまたは複数の前記電子データ構造を讀出すステップと、

1 つまたは複数の前記電子データ構造内のベンチマーク定義に対する 1 つまたは複数のキーワードを認識するステップと、

1 つまたは複数の当該キーワードによって識別された情報をデータベース構造内に書き込むステップと、を含む、請求項 2 3 記載のコンピュータ読出し可能な媒体。

【請求項 2 5】

前記ベンチマークデータの組込みが自動的に行われ、

1 つまたは複数の前記電子データ構造を讀出すステップと、

1 つまたは複数の前記電子データ構造内のベンチマークデータに対する 1 つまたは複数のキーワードを認識するステップと、

1 つまたは複数の当該キーワードによって識別された情報をデータベース構造内に書き込むステップと、を含む、請求項 2 3 または 2 4 記載のコンピュータ読出し可能な媒体。

【請求項 2 6】

キーワードによって識別された前記情報と、前記情報が書き込まれているデータベース構造を相互にアルゴリズムによって割り当てる、請求項 2 4 または 2 5 記載のコンピュータ読出し可能な媒体。

【請求項 2 7】

前記アルゴリズムは 1 つまたは複数のテーブルまたは、1 つまたは複数の規則を含む、請求項 2 6 記載のコンピュータ読出し可能な媒体。

【請求項 2 8】

1 つまたは複数の前記規則は 1 つまたは複数のテーブルに含まれている、請求項 2 7 記載のコンピュータ読出し可能な媒体。

【請求項 2 9】

前記データベース構造は事前に定められる、請求項 2 5 から 2 8 までのいずれか 1 項または複数項に記載のコンピュータ読出し可能な媒体。

【請求項 3 0】

前記電子データ構造内に含まれているベンチマーク定義を、ビジネスプロセスをサポートするためのソフトウェア内に含まれている相当するベンチマーク定義に、テーブルを用いてマッピングし、

当該テーブル内では、前記電子データ構造内のベンチマーク定義の第 1 の ID が、ビジネスプロセスをサポートするためのソフトウェア内のベンチマーク定義の第 2 の ID に割り当てられている、請求項 2 3 から 2 9 までのいずれか 1 項または複数項に記載のコンピュータ読出し可能な媒体。

【請求項 3 1】

ビジネスプロセスをサポートするためのソフトウェア、殊に企業資源計画ソフトウェアでの使用に対する、請求項 2 3 から 3 0 までのいずれか 1 項記載のコンピュータ読出し可能な媒体。

【請求項 3 2】

搬送波内に組込まれているコンピュータデータ信号であって、

コンピュータシステム内で実行される 1 つまたは複数のプロセスを用いて、請求項 1 から 4 までのいずれかに記載の電子データ構造を処理するためのコードを有しており、

前記コードは、1 つまたは複数の前記電子データ構造内に含まれている 1 つまたは複数のベンチマーク定義またはベンチマークデータを、ビジネスプロセスをサポートするためのデータ構造またはソフトウェア内に組込むための命令を含む、ことを特徴とするコンピュータデータ信号。